



## 介護サービスの質の向上 への取り組み 介護相談員派遣事業

平成12年度に介護保険制度が開始され、8年が経過しました。8月末時点で、開成町の要介護認定者は350人です。介護保険の利用者が徐々に増え続けるなか、町では介護保険サービスの質の改善への取り組みを進めています。

### 介護相談員は利用者の相談役です

開成町では平成16年度から介護相談員派遣事業を開始しました。この事業は、町の介護相談員が利用者の疑問や不満、不安を受け付け、介護サービス事業所や町に利用者の声を伝えるものです。介護サービスの利用者は直接事業者

に希望や不満を伝えるにくいことがあり、介護相談員は利用者の声を事業者や町に伝える橋渡し役となっています。

### 利用者の声を聞き、サービスの質の向上をめざします

開成町では現在町の委嘱を受けた4人の介護相談員がいます。介護相談員はまず養成研修を受け、高齢者や介護保険についての基本的な知識や対応を学び活動を行っています。

相談活動は、介護サービス事業所を訪問し、行っています。利用者と面接し、日々の生活で支障があること、希望や不満などを聞いています。相談された内容は、町の担当者に報告され、担当者が現状を確認しています。調整が必要な場合は事業者の担当者と話し合い、問題の改善に向け取り組みます。

### 現在までの活動

4人の介護相談員が2人1組になり介護サービス事業所を訪問しています。昨年は4事業所を合計18回訪問しまし

た。利用者とは数回面接するなかで信頼関係を築き、いくつか相談を受けました。そのなかの一つに食事の相談があり、早速、事業所の担当者と話し合いを行い、改善されたことがありました。この件では事業所との調整後、提供される料理の温度が配慮されるようになり、「食事がおいしくなった」という声を後日聞くことができました。

からの相談だけでなく、利用者が暮らしやすい環境か、楽しそうに生活しているか、事業所の雰囲気はどうかなど、利用者の側に立ち、介護サービス事業所の環境を確認しています。

### 私たちが開成町の介護相談員です

介護サービスを利用している方が適切な介護を受けられるよう、入所施設を訪問し相談活動を行っています。



大宮ルイ子さん



遠藤節子さん



北村柳子さん



鶴岡満江さん

保健介護課  
保健師 小田倉恵美子  
☎84-0320

### 介護相談員の活動

1か月に1回程度、2人1組で訪問

介護サービス事業所を訪問



利用者から話を聞く

相談内容の客観的事実に基づき相談記録票を作成し、活動報告書を提出

開成町(事務局)へ報告

事務局を通じて活動報告書を提出。意見交換を行い、サービス改善を提供

事業者へ報告・提案

相談者から匿名の希望がある場合は、個人が特定できないように配慮する

# 子育てワンポイント 67

## 子どもが歯みがきを嫌がりませぬ。どうしたらよいのでしょうか。

**A** まずは嫌がる原因を探ってみる事です。「これから歯みがきするよ」と力が入っていませんか。お母さんやお父さんの一生懸命さが逆にお子さんのプレッシャーになり、お口を開けてくれないことがあります。

お子さんの機嫌のよいときを見計らい、一日に何回かわけて少しずつみがくのもよいでしょう。

歯みがきは遊びの延長のような楽しい雰囲気なかで行ないます。歌に合わせたり、親子でみがきっこをしたりするなど工夫してみてください。お子さんが自分でみがくとすつたらおおいにほめて満足するまでやらせてあげましょう。仕上げみがきの体勢は、寝かせみがきがいいです。寝るのを嫌がる子は、向かい合って親が歯みがきするところを



保健介護課  
☎84-0327

**入** 園、進級から半年が過ぎ、ひとまわり大きく成長した171人の子どもたち。今日も元気に園生活を送っています。

**春** 多目的広場の北側にありの種をまきました。より高く、より太く、大輪の花を咲かせようと願いを込め、子どもたちと教師が力を合わせ、毎日水やりなどの世話を続けました。

**七** 月上旬、一つ二つと開花し、中旬には116本のひまわりが、太陽に向かって見事に咲きそろいました。休みの二日間「ひまわりの絵を描きませぬ

**夏** 月、「うんとこしょ!どっこいしょ!」ひまわりを抜く元気な声が響きます。子どもたちの背丈を越し、3杯以上にもなったひまわりの茎。太さは直径5センチほど。三人がかりで力を振り絞る悪戦苦闘。乾いた土の中から、ようやく頑丈な根っこが見えてきました。「やったー!すごい根っこだよ!」と、驚きと感動の声。「わっしょいわ



「いっぱい咲いてきれいだね」咲き並ぶひまわりの絵をいっしょに描く親子

か」と保護者の方にお誘いしたところ、大勢の方が参加してくださいました。クレパスを走らせ、画面いっぱい描かれた作品は、どれも力強く生き生きとしていました。園児、小学生、高校生、保護者の方を合わせ、90点の作品を園舎の廊下に展示しました。

生 生 しポート 今 100  
子どもたちは「栽培活動を通して心豊かに」

開成幼稚園教頭 瀬戸 敬子

**九** 月、「うんとこしょ!どっこいしょ!」ひまわりを抜く元気な声が響きます。子どもたちの背丈を越し、3杯以上にもなったひまわりの茎。太さは直径5センチほど。三人がかりで力を振り絞る悪戦苦闘。乾いた土の中から、ようやく頑丈な根っこが見えてきました。「やったー!すごい根っこだよ!」と、驚きと感動の声。「わっしょいわ

つしよい」かけ声高らかに抜いたひまわりを花壇から運び出してきました。仲間と力を合わせて取り組んだ満足感、達成感を全身で味わいました。**咲** き終わった花にぎつしりと詰まった種。子どもたちがひと袋ずつ小袋に詰めて、運動会に参加する未就園の子どもたちへ心をこめてプレゼントしました。

**今** 年度さまざまな環境ボランティアとして、延べ220人の保護者の方に、園の栽培活動を支えていただいています。汗を流し草取りや整備をしていただいたおかげで、花や作物がすくすくと育ちました。

**子** どもたちは、栽培活動を通して、人の温かさを感じながら、育てる喜びを実感しています。これからも、豊かな体験を通し、地に根をはった心豊かな子どもに育ててほしいと願っています。

**今** 後とも、保護者、地域の皆さまのご協力をいただきながら、自然いっぱいの豊かな環境づくりをめざし、職員一同力を合わせ取り組んでいきたいと思っています。